

ふれあい、なのかいち

「夏祭り大会」開催

文化副部長 3-4 上嶋 吉久

八月九日、文化部メインイベントである「夏祭り大会」が二年ぶりに開催されました。

天候に恵まれて150名を超える大勢のご家族の方がご来場され、会場では「祭りばやし保存会」の皆様による演奏で会場を大いに盛り上げて頂き、開催日まで準備をして頂いた文化部員による催しも各ブースで大盛況でした。

大きな看板で夏祭り気分 Up

祭りばやしで
太鼓とチャンチャンの演奏！

ひもくじ

何がつれたかな？

空気砲

わたあめ・かき氷

どうやって作るんだろう...

ヨーヨーつり

最後に夏祭り大会開催にあたり公民館三役様、文化部役員様、夏祭り大会担当文化部員の皆様のご協力を頂き、大盛況の中、無事に夏祭り大会を催す事が出来ました事に変感謝申し上げます。
ありがとうございました。



「七日市場の歩み講座」

生活部 1-10 紅林 奈美夫

七日市場から戦地に赴き戦死した四人のお話である。抱いていただろう将来の夢も全て断たれた若者たちだ。

戦地から両親や兄弟姉妹に当てた手紙が紹介された。家族を案ずるのみの文面に、本当は「生きて帰りたい」と書き加えたかったのではない。しかし当時はその自由さえ奪われていた。遙か昔でも、遠い国の話でもない。わずか八十余前この日本での出来事だ。

ご自身も戦時下に少年時代を過ごされた曾根原先生が語る身近な人たちの戦争。それは現実感を持って胸の奥深くまで響いた。

そして現代の若者たちに、もっとあの時代を、私たちの国が何をしていたのかを知ってほしいと思った。



七日市場の歩み講座【2025年6月21日】

「温泉ウォーキングに参加して」

4-2 渡邊 晃子

昨年度は体育部員として、温泉ウォーキング運営に携わらせてもらいました。

参加してくださった方々から

とても楽しかったよ

ウォーキングが気持ちよかったと

多数の喜びの声を聞いて、来年度は実際にウォーキングに参加してみようと思い、今回は家族で参加させていただきました。

当日は晴天にも恵まれ、宝探しから始まり、ウォーキングに向かいました。



温泉ウォーキング【2025年7月6日】



普段見れない展望台からの景色をゆっくり眺めながら、緑あふれる森の中をゆっくり歩いて、途中見たことのない草花を発見したり、川のせせらぎを聞いたり、とてもリラックスして歩くことができました。

最後の上り坂は、登ることができるのか？と不安になりましたが、何とか無事にゴールすることができました。

今回のウォーキングでは、自然の中を歩くことで心と体のリフレッシュをすることができました。

とても楽しかったです。



木々の下を歩いて抜けていきます



ソフトバレーボール大会に参加して

生活部 1-8 岡崎 健二

三郷地域春季スポーツの大会としてセブンデイズマーケットと称して参加させていただきました。

コロナ禍のこともあり、久しぶりの開催でしたが多くの地区住民が集まりました。普段は、子育てや仕事等でスポーツをする機会が少なく、体を動かす良い機会となりました。

残念ながら二試合ともに負けてしまいました。が、地域の皆さんと一緒に団体競技をする中で「ナイスサーブ」「ドンマイ！」等、声を掛け合い相手チームから一セットをとった時には最大の盛り上がりで楽しい交流となりました。



春季スポーツ大会【2025年5月25日】

「初めの一步
子どもわくわく塾(三智)」

代表 1-2 池田 安宏

「いろんな歌を歌い、トーンチャイムもひけてうれしかった」「今の小学生が教わる歌を覚えしました。楽しい時間をありがとう」「写真から山の楽しさが伝わってきた」「ザイルとかアイゼンに触ってみたい」「止めけんを初めて習いとても楽しかった。またやってほしい」

子どもたちの夏休みの三日間、地域の子どもと大人が「集い・学び・交わり・体験し・繋がる」機会にしたいと願い、子どもを中心としたわくわく塾三智の初めの一步を踏み出すことができました。残念ながら英語の講座は中止となりましたが音楽・山岳・けん玉の講座を開くことができました。

冒頭に参加の皆さんの感想を紹介させていただきますました。

音楽の筒井年恵先生、山岳の杉田浩康先生、英語の曾根原弘先生、けん玉の高山万寿先生には趣旨をご理解いただき準備の段階から当日まで貴重なお時間を提供していただきました。

今後、地域の子どもを地域で育む活動を進めてまいりますのでご参加をお願いします。



子どもわくわく塾「三智」【2025年7月29日・8月5日、7日】

上：音楽講座 左上：けん玉講座 左下：山岳講座

「七日市場の歴史（第六十三回）」 文化財の維持と保存

曾根原 孝和

馬頭観音群を 七日市場の中学生の地域学習は、諏訪神社・堰・石仏の三つを3年間で回してきました。

今年は石仏で、支援者3人で下見学習をしたとき、堰下の馬頭観音群（26基）は草に覆われ、彫像碑の表情や文字碑の字句はよく見えませんでした。そこで、後日支援者3人は、草を除き、桑の木を切り落として像の表情や字句が見えるようにしました。

思えば、この馬頭観音群は平成25年、市の文化財係の「文化財は出来るだけ元の位置に置くことが望ましい」との助言



【掘り出して整備した馬頭観音群】

で、「歴史の会」が中心になって、土の中に埋まっていたものも掘り出して整備したのでした。珍しい座像や馬頭尊の文字碑もあり貴重ですが、共同墓地の奥にあり、案内板も

設置できずに見にくいのが残念です。

蚕影神社を 西木戸の観音原には貴重な石仏等が9基あり、簡単な説明板も付き見やすいと思います。

ここには明治17年に建立し、蚕の神様を祀ってきた蚕影神社があります。明治22年の景観図から、七日市場の北東部には畑が多く、養蚕が盛んであったと想像されます。

昭和40年頃までは、講仲間が集まって祭りをしたようです。今は祭りもなく建物が倒れないか心配になります。

このような文化財などの維持・保存を、区民がどうしていくかを本気になって考えていく時期かと思っています。



【9基の石仏等がある西木戸蚕影神社】

編集後記

今年度から副公民館長に任命され数か月が過ぎました。

皆さんのご協力を得てホームページに掲載する写真撮影を行っています。今まで公民館活動に参加することはほとんどなく、この役職がこんなに大変だとは知りませんでした。

知らないことが多くて覚えることが多々ありますが皆さんからのご教授をいただき進めてまいります

副公民館長 濱 茂紀



七日市場地区公民館報 ふれあい なのかいち

Vol. 24 No. 2 第68号

【発行日】2025年10月18日

【発行所】七日市場地区公民館

【発行人】望月 武志

【編集人】濱 茂紀

【監修】村上 和夫

【編集委員】

上嶋 吉久（文化部）

本島 正雄（体育部）

今泉 恵子（生活部）

花岡 正明（ボランティア）

松尾 常德（ボランティア）

寺沢 真弓（ボランティア）

加藤 崇雄（ボランティア）